

事務事業名	市税収納管理事務				担当	総務部 収税課 収税係		
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり			電話番号	0285-83-8115		
施策名	4	財政の健全化			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	地方税法、真岡市税条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和29年度～）		
予算科目	1.一般会計	2.総務費	2.徴税费	2.賦課徴収費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	市税収納管理については、主に、口座振替・コンビニ収納・郵便振替、収納データの消込処理、過誤納金還付（現年・過年度）、決算事務等がある。それぞれに担当者を決めて、正確な収納管理に努めている。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 25年度実績 口座振替（加入・変更・解約の入力、管理、引落し依頼、振替不能通知）、コンビニ収納（市県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税）、郵便振替、消込処理、過誤納還付（市税の他、国保税、後期保険料、介護保険料の歳入・歳出還付の総てを含む）、決算事務。 26年度計画 25年度と同じ。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア：口座振替加入件数	件	29,522	29,854	29,810	29,595	29,900
	イ：コンビニ収納件数	件	28,042	31,583	35,120	37,981	38,400
	ウ：郵便振替件数	件	2,081	2,773	2,596	2,045	2,200
	エ：消込処理件数	件	301,821	307,173	313,134	309,712	312,900
オ：過誤納還付件数	件	3,669	2,629	4,006	3,767	3,700	
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市税等の納税義務者、納税通知書。	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア：納税義務者数	人	84,360	86,377	79,783	80,043	80,700
	イ：現年分市税等の納付書枚数	枚	314,768	316,293	313,848	314,275	316,600
	ウ：コンビニ収納可能納付書枚数	枚	297,804	299,743	291,808	291,883	294,200
	エ： オ：						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 正確な市税等の収納管理。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア：口座振替加入率	%	35.0	34.6	37.4	37.0	37.1
	イ：コンビニ収納件数率	%	9.4	10.5	12.0	13.0	13.1
	ウ：郵便振替納付率	%	0.7	0.9	0.8	0.7	0.7
	エ： オ：						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 財政の健全化。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア：現年分の市税等収納率	%	95.7	95.7	95.2	95.8	96.1
	イ：滞納繰越分の市税等収納率	%	12.7	15.8	16.2	14.4	14.8
	ウ： エ： オ：						

(2) 総事業費の推移		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	15,550	14,416	13,496	12,793
	事業費計(A)	千円	15,550	14,416	13,496	12,793	
	人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	6,655	6,655	6,462	6,462
		人件費計(B)	千円	28,404	28,231	27,153	26,262
トータルコスト(A)+(B)		千円	43,954	42,647	40,649	39,055	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	賦課徴収事務があるため当初から開始。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	納期の増加等に伴い事務の件数は増えている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	税金を納める利便性の向上。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 財源の確保に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 徴収義務がある。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市税等の正確な収入管理であり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 事務の電算化により、適切な収納管理が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市税等の収入管理ができない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は、委託料、使用料、手数料が主であり、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 人件費は必要最小限の職員の人件費であり、削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							